

図書館だより

NO. 87 2005年 5月号
(2005年5月1日発行)

はつかいち市民図書館
電話(0829)20-0333
廿日市市下平良 1-11-1

ホームページ <http://www.hiroshima-hatsukaichi-lib.jp/>

山々の木々も、道端や庭先の小さな草花も一日ごとに新しい芽をぐんぐんと伸ばしています。さわやかな緑が風にそよぐ季節、木や花の本など片手に近くの公園や野山に出かけてみるのもいいかもしれません。新緑の息吹を吸い込んでパワーアップしましょう。4月に新しい学校やクラス、職場、ご近所、仲間、新たな環境でスタートを迎えた人も、もうそろそろ慣れてきた頃でしょうか。

さて、昨年度(平成16年度)一年間の実績が出ましたので、お知らせします

昨年の利用者数は、**383,831人** 総貸出冊数は、**583,369冊**です。

図書館の開館日数で割ってみると、一日に1,300人以上の人が利用し、2,000冊もの本が貸し出されていることになります。来月で1年になるホームページの来館者数は、昨年度1万人を越え、もうじき1万5千人になろうとしています。

今月の展示

一般書

・イギリスとアメリカの児童図書賞の本

～正面・中央通路～

イギリスのカーネギー賞、ケイト・グリーナウェイ賞、アメリカのニューベリー賞、コールデコット賞、いずれも子どもたちのためのすぐれた児童書や絵本に贈られる歴史ある賞です。すぐれた本は時を越えてわたしたちに語りかけてくれます。おなじみのあの本から最近の受賞作まで、邦訳された児童図書で当館に所蔵しているものを展示します。リストも作成していますのであわせてご利用ください。

・さくらびあ物語の本 一映画化・ドラマ化された話題の原作本～展示コーナー～

映画やドラマを見るとき、原作を読みたい、と思うことはありませんか？最近映画化・ドラマ化されたもの、またはこれからされるものの原作本を集めてみました。

児童書

・楽しいおでかけ

～こどもの本の展示コーナー～

春から夏へ、気候のいい季節になりました。お天気が良いとどこかにおでかけしたくなりますよね。今月は、いろんな場所へ連れて行ってくれる楽しい本を用意しました。

今月の新刊 おとなの本

図書館には1カ月に約800冊の新刊が入ります。ここでは、その中からみなさんにおすすめしたい本を4点あげてみました。

『防ぐ、治す肺ガンの最新治療』

講談社 493.3/7

増え続ける肺ガン。治らないガンというイメージがあるが、タイプによって様々な治療法が試みられ、成果を上げている。病気を知り、納得できる治療法を選ぶための必読本。

『社交ダンスウエア』

日本ヴォーグ社 593.3/シ

年齢を問わず人気を呼んでいる社交ダンス。誰もが憧れる社交ダンスの衣装も4本糸、3本糸のロックミシンを使えば、驚くほど簡単に手づくりができる。社交ダンスの魅力は今以上に堪能できる衣装の作り方を紹介します。型紙つき。

『腐蝕の王国』上・下

江上 剛 著 小学館 F/E

80年代日本は金融狂乱の時代へと突入した。誰もが金銭の奴隷となりはてた未曾有の四半世紀。バブル前夜から巨大銀行再編劇まで水面下で繰り広げられた色・カネ・権力をめぐる凄絶な人間模様を描いた日本経済の裏面史小説。

『歴史・小説・人生』

浅田 次郎 著 河出書房新社

914.6/A

中国、新選組、見栄っ張り東京人…。これまでの人生、小説、そして歴史と世の中の動きを、大きく細かく掘り下げる、魅力のエッセンス。小松左京、北力謙三、岩井志麻子、宮部みゆきらと楽しく語る、浅田次郎はじめての対談集。

図書館にある全集紹介

その2. 個人全集(日本) 2

みなさんは「読みたい本が単行本では貸出中だけれど全集にはあります」といわれたことがありますか？図書館には、いろいろな種類の全集を揃えています。そこで、具体的にどのようなものを所蔵しているのか、紹介していきます。

・宇野千代全集 1～12 宇野 千代 著 中央公論社 918.6/ウ

岩国出身の宇野千代さんの作品を収めた全集です。初期の代表作「色ざんげ」や戦後の代表作「おはん」はもちろん多くの随筆も収録されています。

・遠藤周作文学全集 1～15 遠藤 周作 著 新潮社 918.6/I

遠藤周作氏の純文学作品を長編小説、短編小説、戯曲、評伝、評論・エッセイなどのジャンル別に分類し、それぞれを発表順に収めたもの。翻訳や未刊行の長編小説、日記・年譜・書誌も収録されています。

・大江健三郎小説 1～10 大江 健三郎 著 新潮社 918.6/オ

・大原富枝全集 1～8 大原 富枝 著 小沢書店 918.6/オ

「12ヵ月のおてつだい

ほくとポチのシリーズ」

きたやま ようこ/作 理論社 E/キ

花の種まきをしていると虫たちが、ふとんを干しているとおひさまが、ほくとポチのためにエフロン姿でお手伝いに来てくれた。それぞれの月でしてもらった色々なお手伝いがユーモラスに描かれている。

「あまのじゃくなかえる」

イサンベ/ぶん キムドンソ/え

かみや にじ/やく

少年写真新聞社 E/キ

あまのじゃくな息子は、何を言われても逆さまのことをするので母さんがえるは心配でたまりません。韓国・朝鮮の昔話を墨絵で描いた美しい絵本。巻末に文化解説とハンゲル原文がついています。

「のはらうた わっはっは」

工藤 直子/作 童話屋 911/ク

20年目の「のはらうた」です。最初に登場したのはこぶたはなこさんとこりすすみえさん。仲間がだんだんふえて「のはらみんな」は99人になりました。春・夏・秋・冬のはら村、あなたも散歩しませんか？

「ホットケーキいいん？」

二宮 由紀子/作 にしむら かえ/絵

ポプラ社 913/ニ

めんどりのメアリーさんがホットケーキを焼こうとすると、マーガレットの花が、今週は食べ過ぎと非難します。メアリーさんは反論しましたが……。新鮮な発想で綴ったナンセンスな作品。

「クマは「クマッ」となく？！

おもしろ動物生態学」

熊谷 さとし/著 偕成社 481/ク

フィールドワーカー、野生動物観察指導員の著者が動物生態学について語ります。なぜゾウの首は短い？シカの体の白い点々やヒョウの黒い点々の意味は？など動物のとおっておきの話が満載です。

「メーブルヒルの奇跡」

ヴァージニア・ソレンセン/作

山内 絵里香/訳 ほるぷ出版 933/リ

「おれは生涯ずっと疲れたままだろうな」と言った父。捕虜としてつらい経験を戦争から戻ってきた父が、元気になるようにメーリーの家族は祖母が以前住んでいたメーブルヒルにやってきた。大自然の中で父の再生を見守る家族や隣人を描く。

- 『どうぶつだいすき』 ヨセフ・ラダ/絵 イジー・ジャーチエク/文 飯島周/訳
平凡社 E/ラ
- 『ウィリアムのこねこ』 マージョリー・フラック/ぶん・え まさきりこ/やく
新風舎 E/フ
- 『だれかののぞむもの -こそあどの森の物語 7-』 岡田淳/作 理論社 913/オ
- 『くまざわくんのたからもの -いぬうえくとくまざわくん 4-』
きたやまようこ/作 あかね書房 913/キ
- 『葉の子先生は大いそがし！』 富安陽子/作 YUJI/画 福音館書店 913/ト
- 『子どもの本—この1年を振り返って—2004年』 NPO図書館の学校/編
NPO図書館の学校 019.5/コ

図書館からのお願い

<郷土資料の収集にご協力ください>

郷土資料とは、廿日市市を知ったり、研究したりする手がかかりとなる大事な資料です。子どもたちの調べ学習はもちろん、郷土文化の研究、旧佐伯・吉和を含む廿日市市の歴史の編纂など、廿日市市の文化を継承していくうえでも貴重な資料となっています。

図書館の一番奥には、この郷土資料を並べた「郷土資料コーナー」があります。郷土資料の多くは保存のために書庫に入れていますが、利用者検索コンピュータで調べることができ、部数に余裕のあるものについては貸し出しできるものもあります。そのほか、「広島県資料」のコーナーには、県の歴史や統計、県内の会社年鑑、地図や旅行ガイド、県内電話帳などを置いています。

市民図書館では郷土資料を幅広く収集しています。郷土資料の多くは、書店などを通じた流通ルートを持っていないために、出版情報を把握することも難しく、入手が困難です。廿日市市に関する資料を作成・出版された時には、ぜひご寄贈いただきますようお願いいたします。市民図書館では、閲覧用・保存用として3部収集しています。また、出版情報をお持ちの方はぜひ図書館までお知らせください。

図書館からのお知らせ

<本を大切にしてください>

新しい本ばかり、と評判だった市民図書館の本もいろんなところに傷みや汚れが見えるようになってきました。みなさんに愛されて、たくさん利用されているのはうれしいのですが、ひとつお願いがあります。例えば、本のあつかい方です。雨に濡れてしまった本、ページが折れ曲がっている本、落書き・書き込みがされている本など、本がかわいそうな状態になっているものが増えてきています。本を大切にあつかい次に利用する人が気持ちよく利用できるよう心配りをしたいものです。

利用案内

開館時間	10:00～18:00
貸出冊数	図書 2週間 5冊 視聴覚資料 2週間 2点
休館日	月曜日(祝日のときは翌日) 毎月月末日(その日が土・日・月のときはその翌日)
返却ポスト	1. 正面玄関向かって左 2. 図書館裏駐車場右